

香川大学インターナショナルオフィス主催
市民講演会

水危機克服へ 讃岐からの国際協力

国際シンポジウム「アジア太平洋地域の
水危機に立ち向かう」関連企画

報告書

2015年2月11日

会場：香川大学 OLIVE SQUARE 2階多目的ホール
主催：香川大学インターナショナルオフィス、香川大学水プロジェクト
事務局：地球デベロップメントサイエンス国際コンソーシアム (ICEDS)

目次

| | |
|-------------------------------------|--|
| はじめに | 香川大学副学長・インターナショナルオフィス長 板野俊文 …… 1 |
| 挨拶 | 香川大学教育学部教授・ICEDS（地球ディベロプメントサイエンス国際 コンソーシアム）世話人・国際シンポジウム「アジア太平洋地域の水 危機に立ち向かう」オーガナイザー 寺尾 徹 …… 2 |
| 挨拶 | 香川大学インターナショナルオフィス客員教授 熊谷信広 …… 3 |
| 基調講演 | 国際NPO グランバングラ議長 S. I. Khan カーン博士 …… 4 カーン博士の横顔 講演内容「気候変化とバングラデシュの人々の暮らし」 講演発表資料 |
| 基調講演 | 独立行政法人国際協力機構（JICA）国際協力専門員 松本重行 …… 18 講演「アジアの水問題と JICA の取り組み」発表資料 |
| さぬき発 実践報告(発表資料) | |
| | 香川県における JICA 研修「アジア・アフリカ地域 農家組織による ため池を利用した地域の水管理」の取り組みと成果 香川県農政水産部土地改良課課長補佐 中村康明 …… 29 「水を守る（陸）」移動設置可能な浮体施設を用いた水圏環境改善技術」 香川大学工学部教授 末永慶寛 …… 37 オイスカの乾燥地域における国際協力活動 (参考)わたしのいく道「世界の人と手をつなごう」平成24年度道徳 6年香川県小学校道徳教育研究会 オイスカ四国研修センター所長 萬代保男 …… 44 フィリピンに安全な飲料水の供給を！（JICA 民間連携普及・実証事業） (株)イナダ 代表取締役社長 稲田 覚 …… 49 会場の声(アンケートから抜粋) …… 52 |
| 参考 | …… 54 |
| S. I. カーン博士の社会環境学教育カリキュラムの構築プログラム資料 | |
| 講演会案内チラシ | |
| 編集者リスト | |

はじめに

香川大学は、「水危機研究と讃岐からの国際協力」と題した市民講演会を本学において平成27年2月11日に開催いたしました。これは相前後して開かれた国際シンポジウム「アジア太平洋地域の水危機に立ち向かう(The Water Crisis in the Asia-Pacific Region)」の一貫として開催されたものです。

昔より香川県は渇水に悩まされてきました。記録が残っている1873年(明治6年)以降現在まで(2015年:平成27年)までに13回の渇水にみまわれています。単純に計算すれば約11年に1回の割合になります。このため香川の住民は様々な対策をとってきました。1300年前の満濃池の開発より、現在に至るまで14000か所に上るため池を作ってきたのです。そして1974に香川用水の完成をみました。しかし、それ以降も3度の渇水を経験していることから、まだ渇水問題は残っているのです。

今日、これらの歴史に学び、次に来るかもしれない渇水に対して、我々は準備し、被害を最小限に抑えることが求められています。香川大学では平成25年10月に「水研究プロジェクト」をたちあげ、学内の水研究を行っている研究者を一堂に会し、地域貢献の一環として水研究を開始しました。さらに国内の水研究者との協力を図るため、産業技術総合研究所(AIST)や国際協力機構(JICA)との共同研究も開始しています。

一方、水問題は単に香川だけの問題ではありません。世界の3分の一にあたる人々が、水不足や水質汚濁、水災害などの問題に直面しており、水資源に関わる問題はますます深刻化かつ多様化しています。

そこで、香川大学では水問題に直面するアジアの研究者を招き、国際シンポジウム「アジア太平洋地域の水危機に立ち向かう」を企画、開催しました。アジアにおける水問題の現状と問題点を共有しました。また今回の市民講演会では、香川がどのように世界の水問題と関連しているのかを、実際に行っている各種の自治体や団体の代表の方々に発表いただきました。今回の市民講座が水問題に悩むアジア太平洋地域の人々を救う解決の糸口になればと考えています。



副学長 板野俊文

ごあいさつ 寺尾 徹（香川大学教育学部教授）

アイセツズ（地球ディベロプメントサイエンス国際コンソーシアム）世話人
国際シンポジウム「アジア太平洋地域の水危機に立ち向かう」オーガナイザー

プロフィール

1967年生まれ

専門は気象学。

アジア人々に恵みをもたらし、時に巨大な災害の牙をむくモンスーンの雨に魅せられ、1999年よりバングラデシュにおける洪水の原因に関する研究を開始。インド北東部のアッサム州・メガラヤ州にも進出。インド亜大陸北東部の気象災害や気候変動に伴う水環境の変化の研究を推進しています。

会場いっぱいの熱気に満ちた市民のみなさまのご参加をいただき、主催者を代表して心よりお礼申し上げます。

取り組みを通じ、香川の一般市民のみなさまが、世界の水問題に対する強い関心を持つだけでなく、自分たちにできることを着実に積み重ねながら、国際貢献に既に多面的に取り組んでこられていることを強く実感いたしました。特に、水確保や防災技術の視点にとどまらず、水と



のつきあい方（水文化）の国際的な違いも学びあおうとする意欲も強く感じました。

このような風土は、讃岐地方の水との戦いの歴史に裏打ちされたものだと思います。ため池文化の中に育まれた水文化のありようは、海外からの研修生にも深く感銘を与えていると伺いました。

香川大学・そしてアイセツズも、市民との交流もひろげ、科学的探求と新しい人材・技術の育成、さらには、国境を超え、国家・市民・自治体・NPO・老若男女を結びつける柔軟な取り組みを、いっそう進めていきたいと思っています。

ご挨拶 熊谷信広（香川大学インターナショナルオフィス 客員教授）

プロフィール：1959年生 桜美林大学大学院博士課程満期退学（開発学修士：日本福祉大学大学院）。30年にわたり68か国で開発援助の仕事に従事。現在、JICA職員として香川大学に出向中（ボツワナ支所長兼南アフリカ次長、桜美林大学専任講師、青年海外協力隊事務局ボランティア参加促進課長、アメリカ合衆国次長兼ジャマイカ首席駐在員、沖縄センター研修課長代理、ラオス事務所員、北海道帯広センター所員、農業開発協力部畜産技術協力課員）。総合商社株式会社トーメン勤務（アフリカ・中米担当）。青年海外協力隊員（ザンビア稲作隊員）

香川大学は、独立行政法人国際協力機構（JICA）とグローバル人材育成にかかる国際協力推進のため、JICAと協力関係を推進しています。具体的に、その第一号として、2014年1月からインターナショナルオフィスに小職がJICAから派遣されました。日本政府の実施する政府開発援助（ODA）の実施機関であるJICAは、開発途上国・地域に対して技術協力、無償資金協力、有償資金協力をはじめ緊急援助隊及び青年海外協力隊をはじめとするJICAボランティアを輩出しています。本学からも今までに40か国86人がJICAボランティア事業に参加しております。

香川大学の特徴は、学部間の垣根を乗り越え、重要課題に対して共同研究の推進をしており、その中の一つが「水問題」への対応であります。今回の国際シンポジウムには、JICAからも世界の水問題に取り組んでいるスペシャリストに参加してもらい、特にアジア地域の現状と日本の取り組みについて紹介してもらいました。また、香川で長年実施しているJICA研修プログラム「アジア・アフリカ地域 農家組織による溜池を利用した地域の水管理」で、多くの途上国の研修員に対し、香川の歴史的な水問題に対応する英知の結集である「ため池」技術の紹介をさせていただきました。大学の中だけで自己完結する研究・実践でなく、地域の公的・民間組織と共に、地域に根付いた「THINK GLOVAL ACT LOCAL」の実践のプラットフォームとなる香川大学から、更なるグローバルな人材の輩出をめざし世界と地域の連携拡大の輪を拡げ、水問題解決への日本を代表するモデル構築に推進してまいりたいと思います。以上



基調講演

「気候変動とバングラデシュの人々の暮らし」

国際 NPO グランバングラ議長

S.I.カーン博士

プロフィール

1942 年生まれ

工学博士

現在、バングラデシュの NGO グラム・バングラ議長

元国連環境プランナー・元名古屋大学教授・元 BRAC 大学教授

BUET (Bangladesh University of Engineering and Technology) 客員教授